

春 年頭のごあいさつ

町の更なる発展に向け
全力をあげて取り組みます

寄居町長
津久井幹雄



明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政の運営に対し、温かいご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、世界に目をむけますと、昨年、3月に、アメリカ発のサブプライムローンの問題に端を発した、世界の金融市場の混乱と危機があり、また、中国の四川省で発生した大地震による災害や、アメリカでのバラク・オバマ氏の大統領選挙での勝利など、大きな変化が起きました。

また、国内に目をむけますと、3月から5月にかけてのガソリンの暫定税率の問題、4月に施行された、後期高齢者医療制度を取り巻く問題、6月から7月にかけて、岩手県等で発生した大地震、9月の福田首相の辞任、麻生首相の誕生、そして、12月には、歴史的な日本人4人のノベル賞の受賞など、政治、経済など、様々な分野にわたり、激動の一年であったと振り返っております。

このような激動の中ではありますが、おかげをもちまして、町政運営につきましては、「第5次寄居町総合振興計画基本構想」に掲げる各事務事業も実施率88・4%となり、概ね、順調に進めることができたと考えております。

特に、昨年は、念願の、ホンダ寄居新工場の造成工場の完了及び建築工事の着工があり、関連施設として、用土地内に従業員寮が建設されました。操業開始に向けた準備が着実に整いつつあることを実感しております。

また、私は、昨年9月、知事に同行し、埼玉県が主催したアメリカの企業誘致状況の視察を行いました。この中で、新たに建設された、ホンダの工場の方々の意見交換を行い、操業開始が、寄居町の更なる発展に、大きく寄与するものと実感いたしました。

ホンダ寄居工場につきましては、平成22年度に「1期」操業開始の予定で、順調に進んでいるところではありますが、これまでに例を見ない、突然の世界同時不況の影響から、経営戦略の見直しが行われ、やむなく、操業が一年余り延期となる事態となりました。私は、早期の操業開始を願い、引き続き、全面的に支援してまいりたいと考えております。

さて、本年は、「丑」年でございます。この文字は、手の指で物を握る様子を表した象形文字で、「つかむ」、「からむ」という意味であり、芽が、種子の内部で、まだ伸びることができない状態を表しているそうです。寄居町は、現在、自律した町政運営を目指し、18年度から、

「寄居町新生チャレンジプラン2006」に、また、19年度から「第5次寄居町総合振興計画」に取り組み、関係各位のご協力のもと、ほぼ順調に計画が実施されております。

まさに、種子の中で、芽が伸びようとし、胎動を始めている状態であると感じており、巡ってきたチャンスをつかきとつかみたいと思っております。そして、「丑」の次の「寅」の文字は、春が来て、草木が生ずる状態を表す文字とされています。私は、今、胎動を始め、芽吹こうとしている芽が、大きく成長し、豊かに果実を实らせ、寄居町に大きな収穫を与えてくれるよう、全力を傾注する覚悟でございます。

寄居町が、果実を収穫できるようになるには、まだ数年かかることにはなりますが、町の将来像である、「自然と産業が調和する創造のまち、寄居」の実現に向けて着実に、確実に町政を運営していく決意を新たにしております。引き続き、町民の皆様への絶大なご指導ご協力を心からお願ひするものであります。

結びにあたり、輝かしい新年が、町並びに町民の皆様にとりまして、夢と希望に満ちた素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたことに心よりお慶び申し上げます。

私は、昨年六月定例議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき議長に就任させていただきました。以来、その職責の重さを痛感しつつ、公平公正な議会運営を目指して誠実に努力してまいりました。お陰をもちまして、大過なく新年を迎えることができましたことは、ひとえに町民皆様方のご支援と、町議会議員各位のご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、昨年はアメリカのサブプライムローンの影響により、金融機関が大打撃を受け、百年に一度という世界的な金融危機に陥る中、株価の急激な下落に円高も追い討ちをかけ、産業全体が不景気のどん底に入ってしまった。

一方、国内経済も世界的な不況の影響を受けて急激に悪化しており、定額給付金等の経済悪化に対する諸施策の実施が遅れるなど、未だ予断を許さない状況が続いています。産業界では、

新たな設備投資を控える動きが進み、さらに、企業収益の悪化に伴い、非正規従業員ばかりでなく、正規従業員の削減も行われる等、厳しい状況となっております。

こうした急激な社会情勢の変化の波は、寄居町にも大きな影響を及ぼし、西暦2010年の稼働開始に向けて用地造成までほぼ終了し、建物本体工事に着手していた男衾谷津地内のホンダ新工場について、昨年末に突然、稼働開始時期について1年以上延期するとの決定がホンダから発表されるに至りました。

しかし、ホンダ新工場に対して、新たなまちづくりのための起爆剤として大きな期待を寄せられている状況には変わりはなく、今後とも町議会として稼働開始に向け引き続き支援を行ってまいりたいと考えております。

さらに、こうした状況下ではあります。町の最重点施策に位置付けてこれまで取り組んできた新たな企業誘致について、活発な誘致活動をより積極的に進めることが、将来にわたる町民生活の安定・向上のためには

町民生活の安定・向上のため
最大の努力をしてまいります

寄居町議会会議長
松本 勇

